

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311
FAX 66-1314



福備分教会

昭和10年12月3日 福谷宣教所設立
昭和37年10月26日 移転改称
昭和37年12月18日 奉告祭

陽気ぐらしを目指して、たすけの輪を広げよう

今一手一つに、一步一步!

- *一教会、初席者一名以上
- *おさづけを身近に
- *百万件のにをいかけ

創立百三十周年記念祭並六代会長就任奉告祭

立教184年(2021年)10月24日 執行

立教183年
10月号

障子張り替え
ひのきしん 実施
管理部

管理部(虫明立生部長)は10月3日(土)午前9時から神殿及び神殿建物内の障子張り替えひのきしんを実施、約60人余りが参加した。

婦人会では毎月3日が例会日であり、この日に合わせて定例の座りづとめを勤め、そのあと障子洗いひのきしんに取り掛かった。

午前8時半を過ぎてから管理部を中心に外での作業準備や、それに並行して神殿内では障子を取り外す作業から始め、それを神殿玄関外の石畳の上に積み重ねていく準備を進めた。障子の水洗いが始まると同時に二階の各部屋から取り外した障子は神殿玄関外に運び、また一階各部屋の障子は一階玄関に並べていった。神殿内の障子は婦人会の手際良い作業で水洗いひのきしんは午前中でほぼ終了する事ができた。

昼食後、婦人会は解散し午後からは管理部・青年会有志ら14人でペースを緩める事なく次々と障子を張り続けたが、だんだんに人数も減り一階の障子張りを残す事になったがこの日の障子

張りひのきしんは終了した。次の日4日も引き続き残りの障子張りを9人の有志で行い無事この年の障子張り替えひのきしんは完了した。

普段は気付かない障子の黒ずみも新しい障子に張り替えてみると、とても綺麗に見える嬉しい気持ちになりました。お忙しい中を大教会の上にお力添



各作業が分担して行なわれた

え頂きまして誠にありがとうございます。来年10月24日は笠岡大教会創立130周年記念祭並びに六代会長就任奉告祭の年に当たり、障子張り替えひのきしんの日には未定ですが客殿・会長宅をさせて頂きますので何卒お心寄せ下さいませ様よろしくお願いいたします。



乾いた棧に糊を乗せ、ロール障子紙が貼られた

「有志ひのきしん隊」
実施
青年会

青年会笠岡分会(上原明勇委員長)は、9月15日、油木分教会にて有志ひのきしん隊を実施した。

この日は、3名で教会敷地内の除草を行い、トラック一杯の草を刈り取った。



荷台に山盛りになった草



草ぼうぼうの敷地



修養科生の声

修養科で学んだこと

富士分教会 藤井教太

私は大学受験に失敗し精神的に落ち込んでいたところに、大教会長様・教会長様に修養科へ行くように言われ、自分の中で気持ちの面でも楽になるのではないかと考えて、第94期修養科に志願しました。

学校が始まって、自分と同じ大学受験に失敗した人や一度浪人して大学へ行った人など、不思議なめぐりあわせを感じ、一月目の教養の先生の、僕達には「縁あってこのおちばに引き寄せられた」という言葉を身に染みて感じました。

修養科では当たり前ですが、天理教に入信して1ヶ月というほぼ未信者みたいな人もいます。その方の天理教に対する質問はとても純粹で、悩まされることもありました。一つの例として、「おつとめは世界一れつ助けるため陽気ぐらし世界建設のためにつとめます

が、みなさんは何十年も毎日毎日おつとめをしてるのにどうして戦争は無くならないのですか」と聞かされました。私はその時答えることができずモヤモヤした感じになり、教養の先生からは「まだその時期でなくて、人の成人の途中の段階だから」と言われました。

難しすぎてなるほどと思えませんでした。ですが、考え方の一つとして得るものがありました。

話は変わりますが、同じ修養科生の山野さんは足に身を頂いており、車イスや松葉杖での移動が主でしたが、三日交替で教養の先生方とおさづけを取り次ぐと、三ヶ月目にはほとんど不自由なく動けており、不思議だなとおさづけのすごさを感じさせて頂きました。

この修養科生活で私は自分を変えたいと思志願しました。変わったのかどうかわかりませんが、人間は常に神様の御守護によって日々何不自由なく生かさせていたいただいており、その恩を返すためにひのきしんがあり、日々のおつとめがあることが分かりました。なかなか我を取ることは難しいですが、常に教会につながり、人の助かりを願い、神様にもたれて日々を通ら

て頂きたいと思えます。修養科へ行ってみたいという学ばせてもらいました。ありがとうございます。

修養科生活を終えて

上下分教会 山野哉実

私は、この3ヶ月の修養科生活で多くの事を学ばせていただきました。

今年の2月に足に身を見せられて、なんとか御守護して頂きたいという思いから修養科を志願しました。1ヶ月目は、長距離の歩行が難しく、松葉杖や車椅子での移動をしていました。そんな私にクラスの方々や教養の先生方が優しく接して下さい、毎日おさづけを取り次いで下さいました。また、私の助かりを願い、毎日おねがいづとめをして下さる方もおられ、日が経つにつれ、徐々に足の痛みが和らいでいき、歩ける距離ものびていきました。歩けるということは、当たり前ではなく、とてもありがたいことだと思えました。それと同時に、「かしもの・かりもの」を改めて感じ、しっかりと心に治めて通らないといけないと思

どうしたらこのご恩をお返しできるかと考えた時、自分ができるとおたすけ・ひのきしんをさせて頂くとうと心に決めました。1ヶ月目の初めに担任の先生から「しっかりと人の助かりをお願いさせて頂きましょう。」と言われたのを思い出し、そこからおさづけやお願いづとめ、ひのきしんを積極的にさせてもらうようになりました。自分がしんどくても人の助かりをお願いさせてもらうことによって、自分も助けて頂くことが何度もあり、「人助けたら我が身助かる」とはこの事だと感じました。また、おさづけを取り次がせて頂いた後に鮮やかな御守護を見せてもらったり、感謝の言葉をかけて下さる方も多く、おさづけを通しての喜びも感じる事ができました。

身を頂いてから心が沈んでいましたが、修養科に行かせてもらい、自分の身上について前向きに捉えることが出来るようになりました。今後は、自分が助けて頂いたことを周囲の方々に伝え、積極的ににおさづけ・にをいがけをさせて頂きたいです。また、何でも喜べる素直で笑顔の素敵な女性にならせて頂きます。

昇殿参拝

★昇殿参拝教会長の留意事項

コロナ禍の増加傾向等に配慮し、次の各点に留意願います。

①参拝月20日頃より月次祭当日まで、各自、検温する。

②体調不良・不安がある等、状況によっては、昇殿参拝を辞退・帰参を見合わせるなど、無理のないように対応する。

欠席の場合は、当日の午前7時(10月のみ6時)までに岡崎へ連絡。

③前日からの詰所泊・詰所食、また、当日の午前8時(10月のみ7時)、詰所発のマイクロバスを利用される方は、早めに、詰所(上原^浩)へ連絡する。

④昇殿参拝の際には、必ずマスク・教服を持参・着用し、近距離での会話を避ける。

教服は、礼拝場階下での着用可(神殿まではハッピ着用の上、見苦しくない格好で)。

東礼拝場階下から昇殿(代表者のみ受付)、前から詰めて着座する。

⑤車イスを利用する場合(前日までに

岡崎へ連絡)は、西礼拝場外のスロープ昇降口から入場し、西礼拝場内車イススペースで参拝する(受付不要)。

この件についてのお問い合わせは、担当者・大教会・岡崎真一まで。

★参拝予定の教会(毎月25日まで変更を受け付けます。括弧内は空き枠数。)

10月：神邊・鶴山・照陽・島中・湯田原・備中・神驛・廣町・福廣・福勇・福芦・安那・芦田川、瑞雲・照雲・松都・米美 (3名)

11月：陽備・芳井・海松ヶ岡・東悠・新山・邑・川島郷・鴨方・作備、福山、坪生・惠陽・大恵山・八尋、米府・弓ヶ濱・西伯・出雲川津 (3名)

12月：陶山・輝美濃・明石市・錦ヶ原、福節、芦品・東水島・高見島・笠尋、吉舎・上下 (10名)

コロナ対策

★月次祭前後の対処等に付き、次の通り、よふぼく・信者に対して、周知徹底願います。

※祭典参拝は通常に戻しますが、今の情勢を鑑み、決して無理をしないようにしてください。以下の点は厳守願います。

①大教会に来会時は、手指を消毒、必ずマスクを着用。

健康状態に異常(発熱等)がある方は来会をご遠慮ください。

②いずれの場所でも、ソーシャルディスタンスに配慮し、神殿内では1畳に1人ずつ座って参拝(下図参照)。

③祭典前の清掃ひのきしん、祭典日の昼食ひのきしんは婦人会の当番教会でつとめる。

④20日15時より、月次祭のおつとめまなび。

⑤祭典講話はあります。おつとめ奉仕時も、地方・笛以外はマスクを着用。

⑥食堂・講堂での食事は、食前に手指を消毒。テーブルに直面して座らず、全員、同じ方角を向いて喫食。

⑦月末の諸会議は毎月29日(12月は20日)。

⑧詰所の宿泊については、笠岡内の方

のみ申込を受け付ける。⑨右記内容に変更を生じた際は、その都度、直轄教会長宛に連絡します。

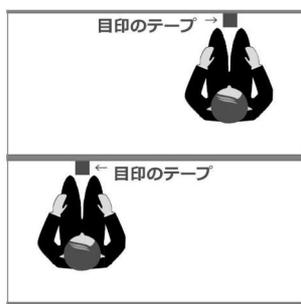
■祭典時、奉仕人の着座位置

殿内の中心線

賢者	理事	指図方	会長様	奥様	1	2	3
賢者	理事	理事	庶務	庶務	4	5	6
5	4	3	2	1	7	8	9
10	9	8	7	6	10	11	12
15	14	13	12	11	13	14	15
20	19	18	17	16	16	17	18
25	24	23	22	21	19	20	21
26	27	28	29	30	22	23	24

各行5名ずつ 男子奉仕人
各行3名ずつ 婦人奉仕人

テープを目印に、1畳に1人ずつお座り下さい。



■神殿内での、参拝者の着座位置

立教百八十三年 九月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	てをどり										地方	役割 区分	講話	祭主		扨者	
									上	大	上	上	大	山	上	吉	田	上				上	大	山	上
今川佐智子	武内正美	虫明好美	内海史郎	谷内伸自	高木昭祥	中島誠治	岡崎真一	佐藤真孝	田中ますみ	上原愛美	大教会奥様	上原繁道	上原明勇	大教会長様	山田敏浩	上原浩	吉岡壽	坐り勤	大教会長様	上原浩	三島涉	大教会長様			
笹尾一美	岡崎豊子	田中つかさ	上原繁次	浅野明教	岡崎真一	杉原博之	虫明立生	横山逸郎	中村初美	高木孝子	内海安子	武内清明	吉岡誠一郎	田中隆之	杉原善朗	三島涉	佐藤道孝	前半	十一月講話	指図方	賛者	内海史郎			
岡崎和美	吉岡八恵	三島照美	赤木素志	岡田真誠	佐藤真孝	高木昭祥	渡邊隆夫	山野弘実	山野なつ	室悦子	門脇加津	森本忠善	今川昌彦	中村剛	三代温生	中島誠治	門脇元教	後半	谷内伸自	上原明勇	岡田誠	内海史郎			

立教百八十三年 秋季霊祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	てをどり										地方	役割 区分	講話	祭主		扨者	
									上	大	上	上	大	岡	上	上	大	岡				上	上	大	岡
吉岡八恵	高木孝子	佐藤香苗	赤木素志	中島誠治	山野弘実	中村剛	三島涉	今川昌彦	谷内美知子	上原順子	大教会奥様	上原繁道	上原明勇	大教会長様	岡田誠	森本忠善	佐藤道孝	前半		指図方	賛者	大教会長様			
山野なつ	田中つかさ	内海安子	杉原善朗	杉原博之	山田敏教	横山逸郎	高木昭祥	上原浩	横山小智榮	門脇加津	武内正美	虫明立生	岡崎真一	田中隆之	上原繁次	吉岡誠一郎	門脇元教	後半		吉岡壽	佐藤真孝	浅野明教			

九月月次祭祭文

此の笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様には一列子供かわいいの親心一杯のご守護と 世界一列を助けたいと たすけ心一杯のお導きを下さり 日々は結構に恙なくお連れ通り頂いておりま
す 中でも今はあれほど暑かった気候も 一雨毎に涼しくなり朝晩は肌寒ささえも感じるようになり 食べ物を通して秋を感じる季節をご守護下さっておりま
す事は誠に有り難く勿体ない極みでございます 私共は季節の移り変わりに より一層の親心を感じ喜び感謝の心一杯に 日々は朝に夕にと御礼を申し上げます
つご恩報じを念じて コロナウイルス感染に注意をしながら 出来る精一杯のたすけ一條のご用の上に努め励まして頂いております

その中にも今日の吉日は 此の笠岡に理のお許しを戴いた御祭り日でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同喜び感謝と たすけ心も一人に心を一つに
睦び合い 明るく陽気に勇んで座りづとめてをどりを勤めて 九月の月次祭を執り行わせて頂きます 本日は久し振りに参拝制限を設けずつとめさせて頂きます
が ウイルス感染をしないよう一人一人が充分に注意をしてつとめさせて頂きます 御前に寄り集い言改めて御礼申し上げます 親神様にも
お勇み下さいますようお願い申し上げます

さて 本来ならば 今月はをいがけ強調月であり 月末は全教一斉に
をいがけデーでございますが コロナの影響で自粛しなければならぬ
現状でございます かといつて身上事情で苦しむ人が減ったわけでもな
く むしる増えているように思われます にをいがけが出来難くても 常
に たすけ心のアンテナを張って出来るお助けをしつかりさせて頂く所存
でございます 又来月は秋の大祭月でございますので 直轄教会へ大祭
参拝をさせて頂き 立教に込められた親の思いを受け いかに応えていく
かを相談させて頂きますが コロナに対する教会の現状を鑑みて無理せ
ず実施させて頂く所存でございます

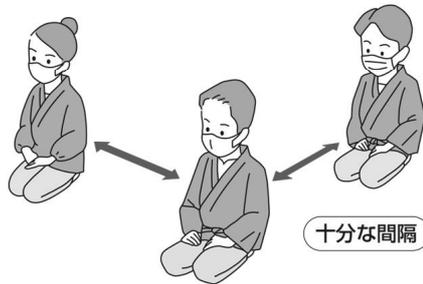
何卒親神様には 旬々にお現し下さる親心にお応えすべく たすけ一條
に邁進する 皆の誠実の心をお受け取り下さいます 万たすけの上に
自由のご守護を賜り 親神様のお働きを身近に感じてご恩報じに邁進す
る人が増え 助け合いの輪が広がり コロナ禍も終息して 陽気づくめ
の世の状が一日も早く実現しますようお導きの程を一同と共に慎んで
お願い申し上げます

本部神殿で参拝する際の感染防止のエチケット

- 本部神殿へ向かう道中は、密集を避け、マスクを着用する。
- 昇殿の際は、各礼拝場の基壇に設置されているアルコール消毒液で手指を消毒する。
- 殿内では、ほかの参拝者との間に、十分な間隔（前後左右できるだけ2m、最低1m）をあけて座る。



手指の消毒



十分な間隔

- おつとめ中にマスクを着用してもよい。
- トイレの後は、石けんを使って丹念に手を洗う。
- 下足置き場で靴を履くときは、各自で靴べらを使用する。
- 本部食堂で喫食する際は、手洗いと手指消毒のうえ、対面ではなく横並びに間隔をあけて座る。



マスクを着用してもよい

秋季 霊祭祭文

これの笠岡大教会の祖霊殿にお鎮まり下さいます本席様の神霊 初代真柱様並びに奥様の神霊 二代真柱様の神霊 大教会創設の祖上原佐吉大人八重刀自の神霊 初代会長上原さと刀自の神霊 二代会長上原伊助大人光刀自の神霊 三代会長上原繁雄大人くに多刀自の神霊 四代会長上原郁雄大人朝子刀自の神霊 歴代会長と共にたすけ一条の艱難苦勞の道を歩まれ 今日の道の礎を築いて下さいました役員 部内教会長 教人 よふぼく 信者の神霊 諸々の神霊の前に 会長 上原理一 慎んで申し上げます

祖霊様方には 身上事情を通してこの道に引き寄せられ 親神様教祖の親心とお働きを知り 又我が身我が家の因縁も悟つてご恩報じの上からたすけ一條の道を生涯懸けて通られました その道は茨苦勞の道でありましたが 先を樂しみに勇んでお通り下さいました お陰をもちまして 今日結構な道を見せて頂いておりますのも ひとえに親神様教祖のご守護お導きであると共に 祖霊様方の真実の伏せ込み理作りの賜と 日々は朝夕にお礼申し上げます 親孝心一筋に又陽気ぐらしへの使命感を持つてたすけ一條のご用の上に努め励ませて頂いております

その中 本日は今年の秋の霊祭を執り行う日柄でございますので 只今は親神様の御前にててをどりをつとめさせて頂き 続いて御霊様方に改めて御礼申し上げますと 御前に席を移させて頂きました 在りし日の面影を偲び 御遺徳を称えたいと 旬の物を供え拝む皆の真実の状をご覧下さいまして 祖霊様方にも御心お安め下さいますようお願い申し上げます

さて春の霊祭で申し上げた新型コロナウイルス感染がいつこうに終息の兆しが見えませんが 国内はもとより世界中に拡大し 多くの方が亡くなるという厳しい現実をお見せ頂いております その中 密閉・密集・密接の三密を避けた新しい生活スタイルの確立が叫ばれ 常にマスクの着用や 手や物の消毒に気を遣う等 今まで経験した事の無い生活を強いられています そうした中にあつて私達は 信仰の元一日を尋ね 恩報じの思いを奮い立たせ 代々辿つて来た道は何の為だったかを思案しながら 今出来る精一杯のご用とお助けに励ませて頂く所存でございます

何卒祖霊様方には 時代の変化に惑わされず 親を慕い 親の思いを受け継ぎつつ 足を踏ん張つて たすけ一條に邁進する皆の真実の状をご覧下さいまして 祖霊様方が求められた陽気ぐらしの世の状に 一歩でも前進できるようにお力添えの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

大教会だより

II 教会指令 II

◎臨時祭典願

笠岡 大教会

☆創立百三十周年記念祭

立教184年10月24日

立教183年9月25日承認

◎任命願

米府 分教会

*前任 三代 幸徳

*新任 三代 幸徳



三代幸徳氏

☆奉告祭 立教183年11月24日

立教183年9月25日承認

◎第九四九期修養科

自 立教183年7月1日

至 立教183年9月27日

*教養掛(主任、副主任)

一ヶ月目 ⑤ 上原 志郎

(大教会役員)
 ① 高田 一弘
 (真府分教会長)
 ② 岡崎 治喜
 (弥高山分教会長)
 ③ 枝廣 隆文
 (東福山分教会長)

三ヶ月目 ④ 今川 昌彦
 (大教会役員・
 金浦分教会長)
 ⑤ 藤井 正仁
 (福富士分教会長)

***修了者**

福富士 藤井 教太
 上下 山野 哉実

◎教人資格講習会修了者(全期)

立教183年10月11日終講
 松都 三代 真生

◎本部食堂ひのきしん

自 立教183年10月1日
 至 立教183年10月5日
 米府 三代 洋子
 自 立教183年10月6日
 至 立教183年10月10日
 新輝豊 杉本 悦子
 自 立教183年10月11日

◎立教183年秋季大祭参拜

至 立教183年10月15日
 島根 門脇 はづき

福山 上原 明勇
 高屋 佐藤 道孝
 神邊 上原 明勇
 島根 大教会長 様
 久松 門脇 元教
 鶴山 *上原 志郎
 弥高山 上原 繁道
 陽備 *上原 志郎
 摩耶 *上原 志郎
 金浦 佐藤 道孝
 興明
 ひろさと
 陶山 上原 明勇
 芳井 上原 繁道
 呉照 武内 正美
 海松ヶ岡
 東悠
 吸江
 照陽 上原 明勇
 輝美濃 大教会長 様
 新山邑 中村 剛
 皆部 中村 剛
 明石市 中村 剛
 上下 上原 繁道

*印は11月、空欄はコロナ禍のため。

府中市 東部 上原 明勇
 東部 上原 明勇
 服部 上原 明勇
 島中 武内 正美
 驛家 武内 正美
 油木 田中 隆之
 葦陽 上原 繁道
 湯田原 上原 繁道
 備中 大教会長 様
 神昭
 美之郷
 錦備

計報

高田賀代子姉

大教会おつとめ奉仕人
 9月27日出直されました。
 享年 81才

森本忠平氏

大教会承事・笠晴分教会長・海松ヶ岡分教会前会長
 10月2日出直されました。
 享年 80才



10月も終るころとなり、あと2ヶ月で正月を迎える頃となり、年賀状の準備に気が急ぐ頃となりました。

この一年を振り返ってみれば新型コロナウイルスにより、戦後生まれの私たちは、経験をしたことのない出来事が続いています。楽しみにしていたオンラインピクニックの延期、小中高学校の臨時休校、また各地区の夏祭りの中止と全てがとまりました。普段の生活においても、友達と話をする時も、会話は暑い中、マスクを付け、また多く人々が集まる場所においては、三密を気掛けるように指導をされています。現在、世界では百万人の人が亡くなられたそうです。・・・陽気ぐらしとは、程遠い日がつづく毎日です。

こんな中ではありますが、思い返せば、教祖130年祭があと1年となったところに聞かせて頂いた言葉を思い出し、喜ぶようにしています。

「年祭は助かる句ですよ」 (K・I)